



議会だより

2010

No. 79

題字は日出中2年 ^{ひぐち}樋口 ^{ゆき}友紀 さんです

平成22年1月28日（年4回発行）
発行：大分県日出町議会
電話：73-3135

目次

● 常任委員会	2
● 一般質問	5
● 行政視察報告	13
● 町民の声	16

私たちの命と財産を守ってね（消防団出初め式放水訓練）

常任委員会

総務

委員長 佐藤 済江
副委員長 後藤 佑
委員 笠置 久夫
委員 相原 正和
委員 田原 忠一

一般会計補正予算

補正予算2億3430万5千円を追加し、総額86億4822万5千円とするものです。

補正増加の主なもの、共済組合負担金、町長車の購入費600万円、まちづくり基金積立金712万円、税務申告支援システム導入委託料の追加101万8千円、消防施設費で、内野防火水槽の測量委託料30万円です。減額で主なものは、衆議院議員選挙の時間外勤務手当で64万4千円。

納期および前納報奨金の計算基準の変更に 関する改正

納期改正は、第一期のみ15日から30日までとするものです。これは納税通知書が賦課を確実な

のにするために、15日前後に発送され納税者に届くことになっていきます。しかし、納期は1日からで、その間納付不具合が生じる結果になるので、改正を行うものです。

前納報奨金の 計算基準の変更

従来の個人町民税、固定資産税の前納報奨金は、各納期に税額を前納期月数に応じて支払っていましたが、最初の納期一期目に全納期分の税金を納期した場合のみを一本化するものです。

議会の議員その他 非常勤職員の公務災害 補償などに関する 条例の一部改正

雇用保険法などの一部改正により、地方公務員の職員のうち再任用短期間職員について、地方公務員災害補償法の規定に基づく保障を行うものです。

杵築速見消防組合 規定変更

花火や作業現場での発

破に関する火薬取締法にかかわる事務を22年度より、県の権限委譲を受けることとなり、杵築速見消防組合にて共同処理を行うように追加するため、規約を変更するものです。

第2次日出町行財政 改革プラン（案）

現行の行財政改革プランは、今年の3月31日で終了するため、現在担当課で第2次行財政改革プランを作成中です。素案について、次のような説明を受けました。

①改革を推進するにあたっては、職員の意識改革と組織の機構改革を図り、既成の枠組みにとらわれず、限られた経営資源で最大の行政効果を得られるよう、よりスリムで効率的な行政経営体への転換を目指します。

②住民サービスの公平性・公正性を確保するとともに、住民ニーズや地域の課題を的確に把握し、住民の視点に立った行政運営を推進し、住民の満足度の高い行政サービスの提供

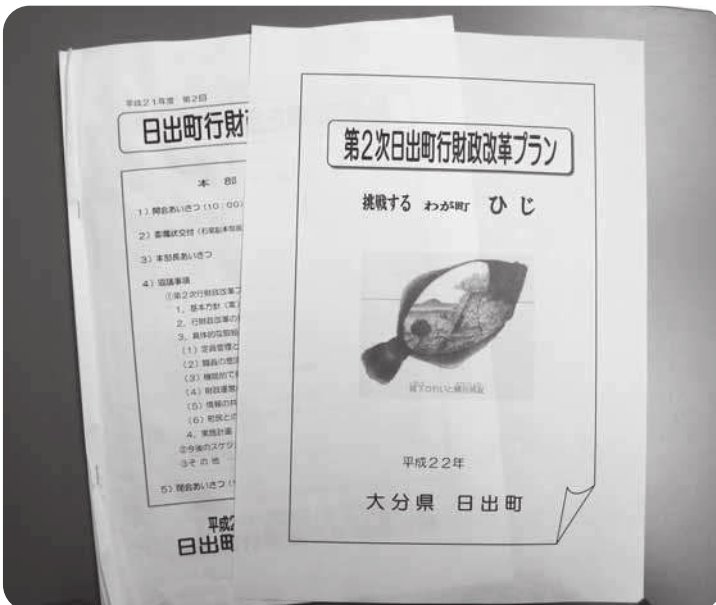
に努めます。

③改革は、行政だけの取り組みでは限界に達してきており、町民の理解と協力が不可欠になっていきます。民間で実施する方が効率的あるいは質の高いサービスができる分野もあります。このため、町の役割や事業の進め方など改めて見直すとともに、町民や民間組織などと行政とがそれぞれ適切な役割分担のもとで、「自助」「共助」

「公助」の考え方を基本に取り組みを進めます。

改革の柱

- ①定員管理と給与のあり方
- ②職員の意識改革と人材育成
- ③機能的で柔軟な組織・機構の確立
- ④財政運営の健全化
- ⑤情報の共有化による透明性の向上
- ⑥町民との協働の一層の推進



すばらしいまちへ期待（第2次行財政改革プラン）

常任委員会

産業建設

委員長	荒金 啓治
副委員長	佐藤 隆信
委員	笠置 弘
委員	佐藤 克幸
委員	上野 公則

的山莊購入に 委員会はストップ

委員会では一般会計補正予算で観光費、的山莊購入費1億2500万円を修正し可決しました。

的山莊購入事業は、現在進めているまちづくり事業の一環で、文化財としての価値もあり、将来町の観光行政の核として活用。町の文化財でもあるため、何とか保存したいという執行部の考え方です。

新聞報道で、町が的山莊購入と出て、町民や議員の間でも賛否を問う声が出ていました。

特に重要案件として2



購入に委員会は待った（的山莊）

日間財政関係、事業計画、今後の維持、管理費、観光戦略などまた現地も視察（蔵の所蔵品）調査を行った結果、原案の歳出1億2500万円を削除し、それにかかる歳入も

削除するように修正しました。

★委員会の修正の主な理由

①事業計画の中身が不透明、確定して

いない

②維持費、管理費の資金計画がずさんで将来の財政状況が危ぶまれる

③取得後の運営をどのようにするのかの具体性がない

④的の山莊の所有権との不動産売買契約が不透明

⑤的の山莊購入の情報公開が遅い

⑥審議に要する時間が足りない

日出団地区計画の 策定についての陳情

日出団地は、造成により宅地として分譲された昭和54年から20年間にわたり、日出住宅団地建築協定書で、住宅地として環境を高度に維持推進し、美しい街並みが保存・形成されてきました。期限が切れた現在も、引き続き建築協定と同様のきまを望む声が住民の9割を超えています。委員会としては、早急に策定案

をつくるよう担当課長に伝え、全会一致で採択としました。

きゆうり選別施設の 改修に伴う助成 金交付の陳情

現在JA日出町は、JA別府市との合併問題があります。合併の行方を見守って結論を出したいので、継続としました。

南畑地区柳川内池 横の道路補修工事

この施設は、町道や農道ではありませんが、防衛庁の予算を貰って町が造ったものです。とても危険な状態であるため町が補修工事をします。危険な箇所は他にも多くあるので、なぜここだけ町費で工事を行うのかという意見が出ましたが、担当課としては、町が今まで行ってきたスタンスは変えない、基本的には受益者負担を求めていますという事です。

常任委員会

社会厚生

委員長 森 昭人
副委員長 安部 三郎
委員 城 美津夫
委員 佐野 故雄
委員 白水 昭義
委員 佐藤 二郎

国保税第1期の納期変更

21年度日出町国民健康保険特別会計補正予算
保険給付の決算見込みにより、一般被保険者の療養費および高額療養費の不足額などを追加計上し、予備費の減額で財源調整したものです。
21年度日出町介護保険特別会計補正予算

追加計上された各種介護サービス給付費などの不足額を、財源それぞれの負担割合で増額補正したうえ、予備費で財源調整したものです。
日出町国民健康保険条例の一部改正



健康づくりに努めます（健康増進課）

事務処理の適正化を図るため、第1期の納期を6月1日から6月30日と定めていたものを、6月15日から6月30日に改めるものです。
日出町介護保険条例の一部改正

部改正、日出町後期高齢者医療に関する条例の一部改正
厚生年金保険法などの一部を改正する法律が22年1月1日から施行されるのに伴い、延滞金の計

算月数を、納期限の翌日から1カ月を経過するまでの期間は、7・3%を乗じて計算していたものを3カ月を経過するまでの期間に改めるものです。
物品の購入
小中学校に設置してあるテレビを、地上デジタル放送対応機種に変更するにあたり、情報教育に対応できる電子黒板付き移動式の大型テレビを20台購入するものです。

ワクチン公費助成 不採択

継続審査中の「肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する陳情」

この陳情は、高齢者への肺炎球菌による肺炎感染を予防するために、肺炎球菌予防接種に対して助成をお願いするものです。肺炎球菌ワクチンは、安全性は高いといわれていますが、極めてまれにはありますが重篤な副作用があること、いまだ

教育委員会の

点検・評価

任意接種でありHibワクチン同様、確固たる安全性を立証するには情報不足で、時期尚早と判断し、今回、この内容における陳情は不採択となりました。

20年度から施行された地方教育行政の組織および運営に関する法律の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理および執行状況の点検および評価を義務づけられ、その結果報告がされました。教育委員会の施策全体を6分野15主要施策とし、その中から37基本施策を抽出し点検・評価を行っています。この取り組みは今後も継続して行われますが、点検・評価の結果、引き出された課題や問題点が次年度にどう反映されるか、今後検証していきます。

一般質問

Q&A ここが知りたい

問 新教育長の学校運営、
教育行政の
取り組みは！



荒金 啓治 議員

答 4つの視点で
進めていきます

問 就任して2ヵ月、
教育長の手腕に期待しま
す。教育長の所信をお聞
きしたい。

教育長 国際的な知識
基盤社会の進展や経済の
グローバル化、高度情報
化、少子化など社会状況
が大きく変化する時代で
一人一人がいきいきと活
躍し互いに尊重し合い、
自立と共生の教育が求め
られています。その原点

は、地域における人づく
りです。町には豊かな自
然環境と地域が誇る歴史
や文化があり、人情味豊
かな人たちがいます。

人づくりを進める上で
地域の教育資源を大事に
し、10年後町が目指す将
来像を定めた第4次日出
町総合計画を基本に、4
つの視点で進めていき
たいと思います。

①子どもの視点に立つ
学校の主人公は子ども
であり、子どものため
に教師がいる

②現場の視点に立つ
可能な限り、生涯学習
や学校教育の現場に足
を運び見たこと、聞いた
こと、感じたことを
大事にする

③連携の視点に立つ
学校、家庭、地域といっ
た地域社会に広がる横
の連携と幼小中、そし
て高大まで入れた縦の
連携が考えられます。

④不易と流行の視点に立
つ
教育関係法規や国の施
策が次々と変わります。
変化に惑わされること

なく、知・徳・体の調
和のとれた人間の育成
や個性の尊重の教育に
確固たる思いで推進し
ていきます

問 町独自の事業で
海外交流事業を中止にし
た理由と今後復活するこ
とはできないのか。

町長 生徒の中で不評
を買う事態があつたと報
告がありました。今後、
国際交流は、町長部局で
対応したいと考えていま
す。

問 南端小中学校を
今後どのような方向性で
対応するのか。

教育長 8月に特認校
制度を導入し、町内の全
校区から希望すればだれ
でも転入学できるように
なりました。

小規模校である南端小
中学校の教育のよさが次
第に地域に浸透していけ
ば、今後も転入を希望す
る生徒、児童が増えると
期待し、保護者や地域の
人々と協力し合い存続を
図っていききたいと考えて
います。

豊岡小学校等 改築検討委員会

問 最近、建築の
技術力も上がって耐震に
もすぐれ、豊岡小学校建
築は100年に一度の事
業だと思えます。

検討委員会設置目的に
理想的な教育環境を実現
するためとありますが委
員会を何回開催しまし
たか。

また1回目からの決定
事項と、基本方針は。

教育総務課長
検討委員会は、豊岡地
区関係者や学校関係者の
意見を伺いながら、子ど
ものためにグラウンドの
面積をどう確保するのか、
老朽化しているプールを
どうするかは、将来の教
育環境を実現するため設
けたものです。委員会は
4回開いています。



100年に1度の大事業（豊岡小学校改築）

一般質問

Q&A ここが知りたい



佐藤 隆信 議員

問 町長は福祉の町から観光へと変えたのか

答 均衡のとれた町政の発展を図ります

問 二の丸館、裏門櫓、隅櫓での観光客は何人ぐらいですか。収益は、
商工観光課長 現在、湯谷城趾周辺の観光客は、年間約4000人で、城下かれない祭りやその他の来場者で、約4万1800人を見込んでいます。
二の丸館の収支見通しは、賃貸料と特産品販売収入で年間約256万円を見込んでいます。

問 維持管理は、だれが行っていくくらいですか。
商工観光課長 町で行います。二の丸館と裏門櫓は、光熱水費・保守清掃費で、年間約60万円です。
生涯学習課長 隅櫓は、町指定の文化財なので、生涯学習課で行います。
都市建設課長 二の丸南浜線の水路は、水源調査を行いながら経済的な



観光拠点になります（二の丸館完成予想図）

方法で、水路の水を確保するなど、訪れる方々の憩いの場として、また景観の向上などを考慮し、水路の形成に努めていきます。
問 川崎運動公園の予算、収益、維持管理は、
生涯学習課長 年間使料収入は、野球場で約10万円、テニスコートで約5万円を予定していま

問 4年前の一般質問で、国民健康保険や介護保険の給付費を少なくするには、地域でモデル地区をつくって健康づくりを行うことを提案し、町長より、早急に考える」と答弁がありました。その後実施していますか。
健康増進課長 地域支援事業を導入し、介護予

介護予防のモデル地区づくり

す。
維持管理は、国の緊急雇用対策で対応しましたが、将来的には管理人の配置も検討していきます。
問 的荘の購入予定価格、収益そして維持管理は、だれがして費用は。
商工観光課長 1億2500万円が入場者約2万2千人、収入で年間約670万円から1100万円を見込んでいます。年間維持管理費は、光熱水費・植栽管理・庭園管理・清掃費などで約475万円を見込んでおり、委託および指定管理者による管理運営を考えています。

問 継続するには、指導者が必要です。町の対応は。
町長 新たに、保健師を4名採用し、保健師が11名、看護師や臨時を入れると15名います。十分手を打ってきていますが、今後とも一層、指導、助言を担当課と含めてやっていきます。

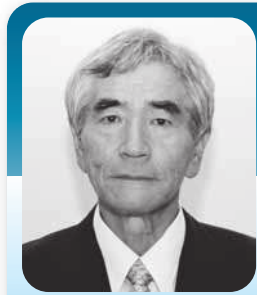
質問を終えて

防事業の強化に積極的に取り組んでいます。また各地区に出向き、介護予防教室を20年度15カ所、21年度も12カ所で行いました。
18年度から転倒予防教室を7地区をモデル地区に設定し、年間12回の教室を開催しています。
問 実施したときだけで、それが終われば、地域で自主的にできないのではないかと、どう手だてをとっているのですか。
健康増進課長 今まで開催した地区では、すべてその後自主教室を開催しています。

町は、観光もよいが産業育成や失業対策に力を。

一般質問

Q&A ここが知りたい



田原 忠一 議員

問 豊岡地区の町道改良は

答 改良事業を積極的に取り組んでいきます

問 町内で、一番人口の多い豊岡地区では昔ながらの狭い町道で、山から海へ、海から山へと、3〜4本あり車道、歩道の区別なく中央線もあります。

子どもや老人は危険にさらされながら通っています。町の考え方は。

都市建設課長 豊岡地区は歴史的にも古くから道路沿線に住宅が連担し

ている地域性があり、連続した道路の拡幅は非常に困難な状況でした。しかし土地の提供を受け、長年懸案でありました交差点改良、拡幅工事を行っています。

長野、法花寺線などは安全性確保のため、両側側溝の改修を行い改良事業を積極的に取り組んでいます。

問 町道で信号機がないのは豊岡地区だけです。どう思いますか。

都市建設課長 国道県道を除き町道には信号機はありませんが交通安全運動などで、多くの方々の意見を聞いて、安全安心に向け積極的に取り組んでいきたいと思えます。

問 豊岡地区では、工事でも始まれば迂回路がなく、上るか、下るしかありませんが凍結している都市計画道路の再考はできませんか。

都市建設課長 当然膨大な費用がかかります。今後の経済動向にともない町独自の財源では行えないので、県などへ施策の

方向性を十分見極めながら、慎重に取り組んでいきます。

町長 自分の土地を出すからすぐやってくれというようなどは、議会にもご協力いただいで、すぐ予算をつけて測量し実施できる方向で行っています。限りある予算の



やっときれいな舗装に（豊岡旧国道）

中で行うので、あれもこれもということはできません。

黒岩いこいの森（ライオンズの森）

問 遺族会や周辺のみかん農家の方々の承諾を得て毎年、2、3回草

刈や枝きりをライオンズクラブが行っているグラウンドがあります。

町民のために多目的グラウンドとして使用する考えはありませんか。

都市建設課長 現在普通財産として管理して

ますが、いろんな利活用を考えるのであれば多目的グラウンドとして関係者方々と当然これから意見を拝借しながら目的を定めます。

赤山池の信号設置

問 20年度予算で確保した池の改良工事と信号設置はどうなっていますか。

上仁王、佐尾地区から100人ほどの子どもが通学しています。事故でもあったら大変です、至急設置を。

都市建設課長 今年度中に信号機が設置されるよう最大限の努力を行っていきます。

質問を終えて

町民に立った行政を。

一般質問

Q&A ここが知りたい



上野 公則 議員

問 公共施設の使用は、公平 公正に

答 関係各課と綿密に協議します

問 公共施設の使用が、ほとんどの施設で有料なのになぜ、黒岩、安養寺の昼間のグラウンドの使用料が無料なのですか。(糸ヶ浜は有料)

生涯学習課長 広く住民の皆さんに利用していただきたいとの趣旨で無料にしています。

問 地域の団体やグラウンドゴルフなどの使用は、無料でいいと思いますし、大いに使ってもらいたいのです。ただ、町

外の人を含め色々な団体も利用しています。有料にしてもいいのではないですか。

生涯学習課長 有料化の検討をしたいと考えています。

問 安養寺ふれあい広場施設利用規則に、「町外者の利用は許可しない」とありますが、たまに町外者の方々が利用しています。

生涯学習課長 私も把握していますが、申し込みは町内の方が申請しており、チェックが大変難しい問題で、今後さらに検討していきます。

問 公共施設を使用する団体で、格差はありますがタバコの吸殻やゴミが残っているし、時間を守れない団体もあると聞きます。どう指導していきますか、また誰が確認しますか。

生涯学習課長 町営体育館の利用者連絡協議会でも、話をしました。町で指導していきます。

問 グラウンドの後始末ができない団体があります。でも、整備には限界があるのも事実です。町全体のグラウンドの管理ができる人を雇うとしたらどうですか。

生涯学習課長 職員が片手間にやることは、限界にきています。財政などと協議しながら、検討します。

町長 責任ある管理者がいるべきと思つていますが、設置者としての義務は果たすべきで、検討させていただきます。

問 使用料の減免措置は、だれが申請しても明確にしてもらいたい。ナイターソフトボール大会などの町を代表するイベントは、すべて減免してもいいのではないですか。

生涯学習課長 ナイターソフトは、余りにも期間が長いということでも若干納めてもらっています。減免は、町主催であれば可能です。

問 地域通貨利用者の推移を見てみると、開始18年12月以降3年でやつと住基カード353名、一般個人カード93名、計446名。この登録数をどうとらえていますか。

日出町にここに通貨
カレイは廃止

企画振興課長 当初2



マナーを守って使用を (安養寺ふれあい広場)

24名、次年度387名、現在446名で推移しています。数は決して多くないと思います。

活用は、1年来検討しています。専用紙幣を使うて広く地域振興になるように、考えています。

問 いろいろな諸費用もかかっていると思います。経済効果も見込めないし、町長がよく言う費用対効果がなければ、やめた方がよいのではないですか。

町長 地域通貨制度は、

極めて重要で今後とも必要だと思つています。ただし、住基カードを使用することは、余り意義を感じていません。方向転換は内部的にしていますし、よりよい方向に進めていきます。

※その他、指定管理者制度の導入の質問もありました。

質問を終えて
つくるより、やめる
勇気の方がエネルギー
がある。ご英断を！

一般質問

Q&A ここが知りたい



問 大丈夫ですか！
二の丸館

答 観光の拠点に
します

後藤 佑 議員

問 賜谷城周辺に、年間どのくらいかの観光客を見込んでいますか。

商工観光課長 城下か、れい祭りやイベントなどを含め来場者は本年度で4万1800人を見込んでいます。

来年度以降の目標値として、二の丸館完成後、観光バスなどを中心に飛躍的に来場者が増えることを期待しています。

問 二の丸館の事務所、販売店、食堂、トイレ、

レ、その他のスペースなどその広さを設定した根拠は、何ですか。

商工観光課長 訪れる観光客のための案内所、施設やトイレ、休憩施設などが整備されておらず、受け入れ体制が十分ではありません。都市再生整備計画により観光客の増加が見込まれることから、町の観光交流拠点として、観光客の受け入れ体制を確立することを目的に賜谷城、二の丸館として観光案内、地域特産品の販



太陽光発電を設置しているモデル企業例

売、軽食、喫茶、休憩所、トイレ、駐車場を一体的に整備します。

既存の案内所を館内に移し、観光の各種情報やパンフレットの提供、観光ボランティアガイドの活動拠点とします。地域特産品販売コーナーは、日出焼き、かれい最中、豊後別府湾ちりめんなどの代表的な特産品を紹介します。

また、農家直販による新鮮野菜などの農産物の展示即売にも活用します。

問 二の丸館に太陽光システムの導入は、考えていませんか。

商工観光課長 太陽光発電システムは、脚光を浴びている産業ですが、賜谷城趾周辺の景観保全などを考慮した結果、導入を断念しました。

豊岡小に、県産の木材、太陽光発電を

問 豊岡小学校の改築は現在、設計段階と思いますが、県の特産品の木材を使って、机や椅子に利用したらどうですか。

教育総務課長 木材の持つ香り、足裏から伝わってくるぬくもりなど学校生活で無意識のうちに木の癒しを体験し、効果的に培われていくと思えます。

P T Aからも、要望書をいただきましたが、その中に木材の多用の、お願いがありました。

財政状況の厳しい折りですが、予算の許す限り取り入れて行きたいと考えています。

問 太陽光発電システムの設置はいかがですか。

教育総務課長 豊岡小

学校には、太陽光発電システムは設置します。導入することにより発電の仕組みや原理、CO2削減効果など、環境教育に活用するとともに、地球温暖化、省エネルギー、省資源に貢献できたらと考えています。

致道館の改修はできますか

問 数年前から致道館の改修の要望があったと思いますが、いかがですか。

生涯学習課長 全体的に老朽化が進んでいます。特に門については、倒壊寸前で突つかい棒をつけて、補強しています。

町長 町長になった、5年前改修を検討しましたが、行財政改革中でもあります。多額な金額を要します。県指定文化財でもあるので、今後前向きに検討して行きたいと思えます。

質問を終えて

町民が納得するよう「まちづくり」を期待しています。もつと事前説明をしてもらいたい。

一般質問

Q&A ここが知りたい



安部 三郎 議員

問 新政権による
水田農業は

答 情報を待って
円滑に実施

町農業の中で水田は重要な位置づけにあり、稲作は農業の中心です。現在、水田や稲作に対する国の政策に大きな変化が現れつつあります。

問 民主党政権は、マニフェストに掲げた農業者戸別所得補償を行うおとししています。農林水産省は来年度モデル事業としてまず米で所得補償制度を先行させるとしており、新たな制度で現場



田植えて楽しいな（今畑農業体験事業）

では混乱も予測されますが、今後どのように対応しますか。

農林水産課長 農林水産省は、22年度に戸別所得補償を実施する方向で予算を概算要求しています。事業の内容は、過去数年分を平均した米の標準的な生産に要する費用と、米の販売価格との差額を全国一律の単価として交付すること、また交付金のうち一定部分を定額として米の価額変動に

関わらず交付するものです。制度の正確な情報の発表を待たうえで早い機会に説明会を開催し円滑な事業実施を心がけたいと考えています。

問 国は、自給率向上を目指し、水田を有効活用するために新規需要米の拡大を強力に進める模様です。町では飼料米をどのように位置づけて推進しますか。

農林水産課長 飼料米生産は、家畜用飼料の価

格高騰対策として養鶏農家が米を飼料に混ぜて使いたいと考えたことから始まったものです。畜産農家は、安定した飼料の供給元の確保と県産飼料米で消費者の安全安心志向にこたえるものです。水田の有効利用と食料自給率向上に有効な作物であり、町内に実需者の養鶏農家も多いことから、推進に力を入れて行きたいと考えています。

問 本年度、飼料米の推進のため町では、80万円の予算を付けましたが、作付の実績はどうですか。

農林水産課長 本年度4haの目標であり、軒ノ井生産組合が3・97ha作付の実績がありました。

地域の安全は
自主防災組織

問 各地区の自主防災組織が、本主に災害が発生した際に適性に機能するためには、地元消防団との連携協力が不可欠です。協同で実施する避難訓練などは、町が積極的に指導をしては。

総務課長 各年度ごとに計画を立て、多くの区で訓練が実施されるよう各自自主防災組織の要望を聞き、各地区の状況に合った訓練を、また、消防団と協同で訓練の実施を行うことを、積極的に働きかけていきたいと考えています。

問 災害に強いまちづくり事業として町内全戸配付予定の防災マップ作成の、作業進捗はどうですか。

総務課長 2月の下旬に印刷作業が終了予定、3月上旬までには全戸配付予定です。

問 現在、消防団員はサラリーマン団員が多数です。団員として活動しやすい環境づくりに、会社、職場へ消防団活動に対する協力や依頼のお願いをしていただきたい。

総務課長 それぞれの団員の意向に合った形で協力依頼に係る職場などへお願いしたいと考えています。

質問を終えて
消防団が火災予防の広報を行っております。火の用心にご協力を。

一般質問

Q&A ここが知りたい



佐藤 済江 議員

問 町民に示せ！
自立可能な新たな
まちづくりのための
「日出町自立計画」を

答 P D C Aに基づく
事業評価を実施します

問 一定の効果を果たした第1次行革プランは、22年3月には終了を迎えます。

藤ヶ谷清掃センター・消防署建替え負担金や学校施設建替え・耐震化や的山荘の買い取りなど財政出動がめじろ押しで、財政運営を町民も危惧していると思います。
自立を可能ならしめる明確な目標・テーマの設定

定・プロセス「日出町自立計画」を示す必要がありますが。

企画振興課長 今後もし、自立していくためには、自助、公助、共助の考えのもとに進める協働のまちづくりと合せ、厳しい財政状況の中で、行財政改革を推進することによる財政の安定化、健全化を図り、より適切な政策を実行することが求められています。

社会経済状況の変化に合わせて再編や行政の担うべき役割に検討を行う必要があります、これに計画、実行、検証、改善のサイクル（PDCAサイクル）を活用し事業内容に迅速に反映させていくことが、有効と考えています。

学校問題解決のための体制づくりを！

問 子どもに光を当てた教育を推進するためには、先生方が元気で子どもと向きあう時間を増やしていくことが、大切です。

教師が、保護者から過度な要求をうけて苦慮するケース、一方では、学校側の対応が原因で要求が理不尽になるケースなどの、問題解決を急がれると思います。実態調査や各学校から要望を聞くことはありますか。

学校教育課長 学校では学力向上、いじめ、不登校など生徒指導の問題、

体力低下、食育の問題、体づくりの課題など様々な指導事項を抱え、多忙で慌ただしい勤務状態と認識しています。

問題が発生したら、各関連団体、警察、民生委員、家庭相談委員、ボランティア協会、児童相談所などと連携して問題解決に対処するよう指導しています。

町民総力戦での観光アピール戦略の立ち上げを！

問 海や山など多彩な自然に加え、ソーラージュの開業・二の丸館・的山荘の活用・豊かな物産が加わるなど潜在能力が大きくなりました。

町民力を生かした感動体験案内人、観光ナビゲーター認定制度、タクシーツアーなど観光戦略を視野に入れた活用計画を考えていますか。

商工観光課長 観光動向として価値観や生活様式の変化に伴い、旅行形態は団体から個人へ移行し、物見遊山的な観るだけのものから、参加型・体験型の観光メニューや、現地の人々との交流・触れ合いを求めるものへと移行しています。

今後のPR活動の基本的な考えとして、これまで未開発であった、町が持つ、多様な魅力のアピールし個々の魅力を磨きあげていくことが効果的であると思います。



観光戦略に期待します（日出町観光案内所）

一般質問

Q&A ここが知りたい



森 昭人 議員

問 3 学期制復活を視野に
2 学期制を再検証

答 現場や保護者の声を聞いて進めます

徳島市教委は、16年から2学期制を導入していましたが、保護者から「学期末に渡す通知表が2回に減ったため、子どもの学習の励みが減った、また反省の機会が減った」、教職員からも「長期休みの前後に始業終業式がないので、はじめがつけにくい」などの意見が寄せられていたため、21年7月に検討委員会を設置し、9月にアンケートを実施

するなどして、学期制のあり方を検討したそうです。その結果、市教委は通知表を渡す回数が減ったかわりに始めた個人面談や学校行事の見直しで生み出した新たな授業時間など、2学期制導入をきっかけにした工夫は残す方針で、22年度から3学期制に戻すことを決めました。

問 改めて2学期制導入の経緯と認識を問います。

教育長 学校週5日制、総合的学習の取り組みや評価方法の変更など、次々に打ち出される学校改革に適切に対応する手立てとして、2学期制の導入を図りました。学校教育の計画、内容、方法などを全て見直し、新しい教育方法への対応や教職員の意識改革を進めていく有効な手立てだと考えています。

振り返りカード

問 2学期制実施後、保護者から「2回の成績

評価だと1学年で、上がるか下がるかの2回で終わってしまう」「長期休暇の家庭指導が振り返りカードでは難しい」「学年の半分が過ぎて通知表をもらっても努力点が取り返しづらい」など意見がでてきています。特に子どもが自己評価で○△



今日も楽しい学校へ（日出地区の通学風景）

◎を付ける振り返りカードは、こういった保護者の意見に対応できているか疑問を感じますが？

教育長 導入をした3年間、2学期制にもなる課題として、通知表のあり方、振り返りカードについても協議をしましたが、その内容が十分に

ない部分もあると感じ、保護者にそういう意見があるのであれば、今後当然、改善に向けて考えていきます。

再度、保護者にアンケート調査

問 教育長や教育委員会に意見が上がってこないから、2学期制が定着しているとするのは乱暴な考えです。新指導要領が完全実施される23年度までに、3学期制復活を含めて2学期制を再検証することが必要だと考えます。そのために保護者や教職員に、学習計画や学力向上、季節風土の視点から再度アンケート調査を実施するべきですが？

教育長 教育行政は、学校現場や地域の声を大事にして進めていきたいと考えています。2学期制は、学習指導要領の改訂に伴いその進化を發揮すると考えますが、現場や保護者の声を聞いて進めます。

行政視察

総務 常任委員会

日時

21年9月29日

10月1日

研修先

栃木県茂木町
栃木県益子町

参加者

委員長 佐藤 済江
副委員長 後藤 佑
委員 笠置 久夫
委員 相原 正和
委員 田原 忠一
財政課長 越智 好
議事事務局局長 名部 憲文

研修目的

財政運営は、町の将来を担う重要な問題なので、合併せず単独で財政運営を行っている両町の実態を研修しました。

両町は、財政運営には事業を進める上での行政評価制度、職員のやる気を起こさせる能力開発でもある人事評価制度を取り入れていきます。また、自立推進計画や再生計画を策定し、一定の成果をあげていることからこの両町の研修を行いました。

栃木県茂木町

合併協議会から離脱し単独の道を選択したから

には、この危機をどうして乗り越えるか、「自立推進計画」を策定し実行してまいりました。

基本方針

①人件費の削減

16年度193人から21年度160人程度に削減します。(人口100人に1人)

②物件費の削減

施設の民間委託・統廃合や需要費の執行のやり方をより一層工夫し5年間で20%の削減を図る。

③補助費の削減

補助制度の在り方を抜本的に改める。

④普通建設費の削減

20%の削減、維持修繕費は現行どおり。

⑤特別会計の改善による

繰入金の圧縮
特別会計独立の原則に基づき、受益者に応分の負担をしていただくため、さらに努力しながら料金の値上げを検討する。

⑥各種計画の見直し

自立推進の見地から各種計画を見直し、不急の事務事業は取りやめ



地元の木材を使用した中学校で研修をしました(栃木県茂木町)

ます。

⑦行政改革の推進

人材育成基本計画策定による人事評価制度の早期導入を図る。

栃木県益子町

人口が、2万5千人と日出町と同規模の町です。合併協議会に加盟していましたが、住民の反対多数で、単独の町運営となりました。

歳入確保対策は

- 公共料金見直し(保育料の値上げ、基本健康診査の有料化、住民票など発行手数料の値上げ、税務関係手数料値上げ、町道占用料の値上げ、公共下水道使用料の20%引き上げ、公共施設使用料の引き上げ)
- 督促強化(滞納整理班を編成して県と連携し収納率を向上)
- 税率などの見直し(法人町民税の均等割税率を制限税率に改正、入湯税税率の改正)

歳出抑制対策は

- 人件費の削減
- 職員数の削減(16年の174人を21年に156人)
- 町3役の給与10%カット
- 議員報酬10%カット
- 議員定数の削減(22人)

を16人)

管理職手当て50%カット

各種委員報酬の削減(20%)

- 物件費の削減(消耗品費、光熱水費、業務委託料(事務室の清掃は自ら実施))
- 各種補助金の削減(20%)
- 投資的経費の削減(事業の縮減、工事期間の延長新規事業は原則実施しない)

財政運営の問題点

- 自主財源の確保のため企業誘致、地場産業の振興、交流人口を増やす。
- 行政評価
- 扶助費の増加

このように政策面においては「環境、健康、学び」を目標に、財政面では「財政運営の健全化」を目標に置いて行動していることは、日出町でも参考にすべきです。

視察研修先の両町は自立のための地域経営を真剣に行っており、自立するための計画と方策と行動が、きちつとかみ合っていることに学ばべき事項が多かったと思います。

行政視察

産業建設 常任委員会

日時

21年10月27日～29日

研修先

京都府京丹後市
兵庫豊岡市

参加者

委員長 荒金 啓治
副委員長 佐藤 隆信
委員 笠置 弘
委員 佐藤 克幸
委員 上野 公則
農林水産課長 横山 公敏

議事事務局副主幹 重岡 由美

研修目的

農業後継者・新規就農者などの新たな農業の担い手確保のため、色々な支援を行っています。さらに、積極的な担い手確保対策が求められています。今後の取り組みと現状・課題を調査研修しました。

また、地域住民の農業への理解や地産地消の取り組み強化が重要となっています。環境保全農業

の推進と地元で愛される農産物づくりを参考とするため、先進地の研修を行いました。(オーガニックタウンへの取り組み)

京都府京丹後市

日本列島のほぼ中央、京都府北部の日本海に面する位置にある。新規就農確保の現状・問題点

- ・農政課内にワンストップ窓口を設置。
- ・農地の所有権と利用権を分離している。
- ・関係機関の協力体制の充実。

- ・就農支援のための各種制度の活用。
- ・自己資金が少ない希望者からの相談が多い。

- ・個人だけでなく、企業も参入している。
- 町としても、農業で生活しようとする後継者・新規就農者は、最も重要な担い手であり、今後重点的に確保・育成に取り組まなくてはならないと考えます。さらに、耕作放棄地が増加する中、様々な形態での農地の活用者をさがし、少しでも

活用の可能性を探ること

も大切と思われず。 ※京丹後市でもイノシシとシカの被害がひどく大きな問題となっています。20年度のイノシシ捕獲頭数は、1787頭、シカ652頭で、市では防護柵や狩猟免許取得へ支援を行っています。

イノシシ・シカの防護柵が田畑の周囲を延々と続いている風景を見ることのできました。

兵庫豊岡市

兵庫県の北東部に位置し、日本で最後の野生コウノトリの生息地として知られています。国指定の特別天然記念物「コウノトリ」が人里で野生復帰を目指す世界的にも例がない壮大な取り組みを行っています。

オーガニックタウンへの取り組み(有機農産物および加工食品)

環境保全への取り組みは重要であるが、理想だけでは長続きしない。経済的に成り立つことで持続可能なものとなる。

コウノトリは、多くの生き物が生息して初めて生息が可能となる。コウノトリが生息できる環境は、人間にとっても良い環境である。オーガニックモデルタウンとして、農林水産省から採択を受け、モデルタウン事業を実施中。予算は、100%国である。環境農業は、教育にも活用されている。(田

んぼの生き物調査など絶滅の危機にあったコウノトリを救うため、野生のコウノトリを捕獲した際に「いつかきつと空に帰す」とコウノトリとの約束から40年間の物語を垣間見ました。

日出町でも、行政・農家・消費者が一体となって物語をつくっていかれたらと思います。

コウノトリは、多くの生き物が生息して初めて生息が可能となる。コウノトリが生息できる環境は、人間にとっても良い環境である。オーガニックモデルタウンとして、農林水産省から採択を受け、モデルタウン事業を実施中。予算は、100%国である。環境農業は、教育にも活用されている。(田



農業後継者・新規就農者を大事に(京都府京丹後市)

行政視察

社会厚生 常任委員会

日時

21年10月21日～23日

研修先

東京都日の出町
埼玉県宮代町

参加者

委員長 森 昭人
副委員長 安部 三郎
委員 城 美津夫
委員 白水 昭義
委員 佐藤 二郎
福祉対策課長 合田 俊

教育総務課長

木村 尚巳

議事事務局次長

井川 功一

研修目的

・ 日出町でも急速に少子高齢化が進むなか、子どもや高齢者にやさしいまちづくりは急務。また、人口3万人のまちを指す日出町には、子育て支援、高齢者福祉施策を積極的に行うことは町のアピールに繋がる

・ 教育環境を整備し、元



全国トップレベルの学力に敬服（埼玉県宮代町）

東京都日の出町

東京都の西部50キロ圏

気な子どもを育てることとは町の責任であり、給食費公会計、学力向上、特別支援教育などのをさらに充実させる必要がある。

に位置し、人口約1万6千人。鉄道駅はないが高速道路交通網が整備され、その利便性から人口は微増。現在5期目で81歳の町長のもと、人口3万人の町を指し、様々な福祉施策を展開しています。

17年に「子ども育成基本条例」を制定し、15歳までの子どもに対し、毎月1万円の次世代育成クーポンを提供、医療費全額助成するなど、子育て世代に町営住宅を提供している。また、20年に「お年寄りにやさしい福祉基本条例」を制定し、75歳以上の高齢者の医療費無料化と人間ドッグの受診料助成などに取り組んでいる。

埼玉県宮代町

埼玉県の北東部に位置し、都心のベッドタウンとして昭和40年以降人口が急増、現在人口3万4千人。住民投票の結果、合併せずに単独で行政運営することを選択。給食事業や学力向上を含め、教育行政は県内でも有数の先進地です。

給食は完全に民間委託だが、運営組織には3つの委員会が存在し、それぞれの委員会がうまく機能して、その運営と品質は表彰を受けたほどです。また、学力向上委員会を開催し、指導教員の育成

に力をいれ、大学教授も一員である教育委員会の活動も大変顕著です。

両町とも町長や教育長、教育委員会など強いリーダーシップのもと、少子高齢化に正面から自信と誇りを持って取り組んでいます。財源がないからできないということではなく、職員も含め、いかに本気で課題や問題に取り組むかだと感じさせられました。日出町が人口3万人にとどくためには、やはり他町村にない特色ある福祉施策、教育行政を展開し町に移り住みたくなる環境整備をしなければなりません。委員会として今後、様々な提案をし、より強く施策の検証や結果の要求ができる委員会であればならないことを確認しました。

町民の 声

「日出町の振興について思うこと」

日出上仁王地区 吉尾 謙介



インターネットのフリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』によると、日出町は『大分県の中郡、国東半島の南端部、大分市から別府湾沿いに北上して約25kmの場所に位置する。隣接する別府市、杵築市とは、かつて同じ速見郡として歴史を共有してきたことから、「別杵速見（べつきはやみ）」と呼ばれ、市民生活、文化面などでの結びつきがとても強い。また、経済的に大分都市圏に属し、大分市との関係も深い。近年、大分市、別府市のベッドタウンとして、国東地域の半導体工場のベッドタウンとして人口増加が著しく、県の商業・工業的中心である大分市以上、県内屈指の人口増加率を誇る。杵築市、山香町、大田村との合併話があつたが、当時日出町より人口の少なかった杵築市と話が折り合わず、最終的に合併を拒否し単独での自治を継続している。』と記されています。

私も日出町に住んで、14年になりますが、正にベッドタウンで、大変住み良い町だとつくづく思います。

生活する上で海産物、農産物の豊富さ、新鮮さは他に類を見ないほど恵まれています。それで十分ではないかと言われればそれまでですが、日出町の振興となると話は違って来ます。

ここ2、3年の景気の低迷による生活不安や、IT企業を中心とした広範な雇用の悪化が、順調な日出町の人口増加にも少し影を落とし始めているようにも思えます。

また日出町の振興にとつて期待される企業誘致の可能性なども薄らいでいると思います。

一方、平成18年に日出町を訪れた観光客は約100万人（内、日帰り客75万人）ほどだそうです。

日出町には城下かれい祭りをはじめ様々な年間行事があり、まだまだ一般的には知られていない歴史的な史跡も数多く、どれも興味深く、魅力があり、重要なものが数多く存在（点在）しています。

史跡をはじめとする観光コースを組めばいくつかの日出町再発見ができて面白いのではないのでしょうか。

そのコースにそつて日出町らしいおもてなしの場所があり、日出町の良さが観光客に伝わるような展開ができればと願っています。

何と言つても日出町の売りはやはり豊かな海の幸、山の幸、そして滾々と湧く清らかで健康的な湧水でしょう。

町のあちこちが道の駅のような（町全体が道の駅）、都会からの観光客が自然のめぐみや歴史散策を求めてやつて来る町になることが理想的だと考えます。

日出町が日出町らしく観光客をもてなす構えが必要ではないでしょうか。

統計によりますと近隣の1日当たり平均JR駅の乗車客数は亀川駅で2972人、豊後豊岡駅462人、賜谷駅779人、日出駅542人、大神駅427人、杵築駅1750人となっております。日出町に特急の停まる駅がないのが現状です。是非、日出町の活性化を推進することと並行して、要である賜谷駅に特急列車を停めて振興に拍車をかけていただきたいと思います。

荒金 明氏 (67) (豊岡西の二)	河野 房雄氏 (57) (日出東仁王)
-----------------------	------------------------

16日 杵築速見環境浄化組合議会定例会	18日 杵築速見消防組合議会定例会	22日 定例会初日	23日 大分県後期高齢者医療広域連合議会定例会	24日 定例会一般質問	25日 別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会	5日 定例会最終日
---------------------	-------------------	-----------	-------------------------	-------------	---------------------------	-----------

3月23日 告示
3月28日 投開票

地方議会の決して少なくない議会報が、その作業のほとんどに事務局の手を借りているなか、日出町議会だよりは100%議員の手作りです。6名の委員は割り当てられた担当記事の、初稿までの編集作業を自宅で行い提出、その後、校正のための委員会を2、3回開催します。編集作業は本当に大変ですが、町政や議会を理解していただくために、委員全員一生懸命です。そんな議会だよりも、今任期中の最終号となりました。次号から心機一転、新たなメンバーで作成する議会報となりますが、引き続きご愛読いただきますことを心からお願いいたします。

(森 昭人)

- 編集委員長 森 昭人
副委員長 荒金 啓治
委員 後藤 佑
委員 上野 公則
委員 田原 忠一
委員 安部 三郎